

仮設住宅団地におけるコミュニティ創出・維持・発展に関する研究 その2 - 岩手県釜石市K団地に対する支援を事例として -

仮設住宅団地 コミュニティ支援 イベント
参与型調査 持続的発展 自立

正会員 ○ 北野 貴大* 同 横山 俊祐***
同 上田 真有佳* 同 徳尾野 徹****
同 三浦 沙耶**

1. 目的・背景

個人へのアプローチによって育んだ信頼関係と収集したコミュニティ・ニーズを基に、談話室でのイベントに参加しなかった住民、さらには参加してはいるが住民間の関係へと発展していない人たち1人1人をふまえたコミュニティづくりに注力した。さらには従来の一過性で受け身的なイベントとは異なり自発的な参加による自立的なコミュニティ形成の基盤を目指す。本稿では椅子・机づくり、表札づくり、流しそうめんのイベントを企画し、そこで生まれた住民同士の関係とその後の発展を明らかにすることで、持続的で自立的なコミュニティの形成に対する有効性を評価・分析することを目的とする。

2. 各イベントの概要とコミュニティの創出

住民の主体的住民間の関係創出を誘発、主体的な参加により団地に対する意識の変化、自立したコミュニティの創出を目的とするイベントを3つ行った。各イベントをそれぞれ、イベントに対する住民の関わり方、住民同士の関わり、住民同士の関係の発展という視点で評価分析する(図1)。

1) 椅子・机づくり 団地からの要望でもあったが、持ち運びできるサイズにして外部での使用を容易にし、誰にでも気軽に使える屋外の居場所づくりを目的とした。近くの工事現場にあった端材をもらい、連絡員と調査グループが談話室の前で制作した。家が近く、作業している様子を目にし道具を貸したり、木材を加工する音を聞いて作業の様子を見に来て声をかける程度で、イベントに対する直接的な住民の関わりはほとんどなかった。さらには、住民間の関係を深めるようなイベントにはならなかった。

2) 表札作り 従来のイベントは、参加者全員が言われた通り同じことをする一方通行のものが多く、退屈だと言う住民もいる。そこで住民が主体性や個性を発揮できて、参加者同士での会話のきっかけになりやすいイベントとして表札作りを企画した。目的の実現に向けて、土台となる木材は全て形が異なるものでその中から気に入ったものを選択し、様々なパーツを用い、談話室の中で制作した。家の表出物として人の目に長く触れ、会話や評価し合うなどの波及効果も見込んだ。

製作時は見本もなく、わからないという声が多かったものの、作り始めると自分のアイデアに強くこだわる様子が伺え、わからないなりに楽しむ姿が見られた。

どのようなものを作るかを相談し合ったり、完成したものに対しては、お互いの作品を評価し合う光景が見られた。一過性のイベントよりは、会話が自然と続くように

なっていた。さらに子どもが作った表札を設置するために自宅を訪問した際、母親とも初めて話すことができた。土曜日に行ったこともあり、いつもお茶っ子に参加する女性たちに加え、孫世代の子供が参加し、子供に相談するなど新しい人と人との関係が見られた。

参加していなかった住民も家に飾る表札を見て「行けばよかった」と興味を示したり、作った人同士や、作った人と近所の住民との会話が生まれており、表出物を作ることは閉じた活動にならないなどのメリットが伺えた。また、親や祖母は表札作りには参加していなかったものの、表札づくりに参加していた子供から楽しめる雰囲気や伝えられたようで、次の流しそうめんのイベントに子供に連れられ若い母親世代も出てきていた。

3) 流しそうめん 平日仕事や学校に行っている世帯も参加できるよう、日曜日に、だれもが容易に参加できる食事を選んだ。素麺だけではなくあめ玉やプチトマトなど箸では取りにくいものを流す準備もし、それを取ろうと競い合ったり苦戦したりすることで年長者から子供まで、世代間で会話が生まれることを期待した。さらには人目につく外部空間で行い、参加していない住民でも雰囲気を楽しむことにも注力した。

準備していると、いつもイベントに参加する女性たちは調査グループの準備作業を見かねて各家庭でそうめんを茹でる指揮をとったり、子供の食べる勢いに負けないよう流すのを手伝うなど積極的な関与が見られた。台に関しても前日に予行練習に来た住民がおり、個人的なアプローチから信頼関係を築けた住民との間でイベントを成功させたいという一体感が育まれた。食べている最中に参加してくる住民もおり様々なタイミングでの参加が可能であった。さらには立ち見するだけの住民も存在し、イベントに対する関わり方も様々であった。調査グループが企画したイベントの中では28人という最多の参加数で、「(イベントに)知らなかった人も来てる」と住民も驚いていた。

イベント中は様々な住民が一斉に集まり、犬好きの住民たちで話が盛り上がる[図1(A)/以下(記号)は図1の番号とする]や薬味の準備をきっかけに地縁で築かれていたコミュニティに新規参加(B)、あめ玉を流すなどのイベント性をきっかけに子供と高齢者が競い合う(C)など世代を越えた会話やつながりを生んだ。

最後の片付けも、依頼せずとも知らぬ間に短時間で終わる等、参加した住民が協力して、従来の受け身であったイベントとは違い、自分たちのイベントとして責任や主体性が感じられ、協働する姿が見られた。

Study of creation, maintenance and development of communities in temporary housing complexes part2

- Case Study of support for Complex K, Kamaishi City Iwate Prefecture -

KITANO Takahiro, UEDA Mayuka, MIURA Saya, YOKOYAMA Shunsuke, TOKUONO Tetsu

3. イベント後のコミュニティの発展

椅子・机づくりでは、居場所が人目に触れやすい外部に設けられたことで、出会いのきっかけとなり、表札作りでは一人一人が誰でも気軽に楽しみながらできる作業を通して、イベントに関わる住民の数や世代の拡張と個別作業による一人一人の意識への働き掛けのきっかけとなり、いままでの個別的な出来事事で収まるのではない、団地や住民に対する意識の広範化への道筋が創りだされ、流しそめんでは受動的な関わり方から主体的能動的に関わる道筋が創りだされた。3つのイベント後、上記の意義が複層し住民の行動の変化に表れていた。

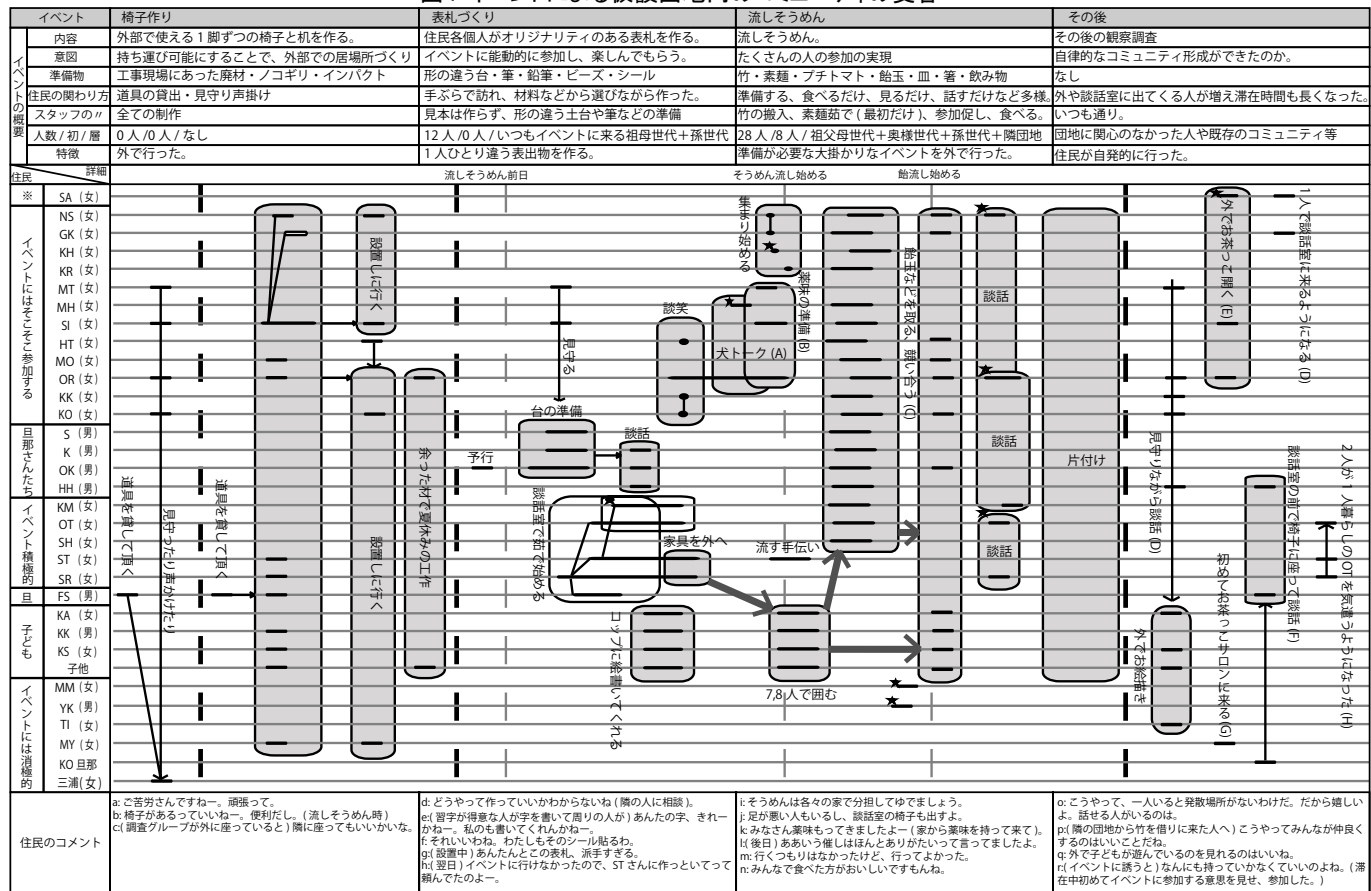
天気のいい日は子供たちが机や椅子を出し外でお絵描きをして過ごすなど生活行為の外部への展開が起こり、その姿を見守るように住民同士が談話する姿も見られた(D)。談話室内部と連続的に外部も使用されるようになり、住民の活動範囲が広がった。さらに外部で住民の自発的なお茶っこサロンが開催され、その前を通りがかったお巡りさんが一休みしたり(E)、談話室の前で連絡員と調査グループが話していると男性が入れ替わり立ち代り空いている椅子に腰掛けながら、話してくる(F)など、気軽に利用できる場が外部に設置されることで、出会った人と偶発的な会話ができ、新しい関係を生み出した。それによって住民が外や談話室に来る頻度は確実に増えた。平日行われているお茶っこサロンに参加したことのな

かった住民もこれらのイベント後、姿を表していたり(G)住民の生活範囲の広がりが確認できた。さらには1人暮らしの住民を気遣うようになるなどの近所付き合いも見られるようになった(H)。

4. 結論

団地住民1人1人の想いを細やかに汲み取りお互いを思いやることのできる関係を築くことで、イベントへの参加や団地に対する意識の変化を実現し生活範囲を広げる結果を生んだ。従来の短期間のコミュニティ支援では、一過性となりその場の癒し程度に留まりがちな点を生活自体にアプローチし自立的な関係を作ることによって補えた。住民同士の関係性の創出・発展を目指したイベントは、居場所づくり、集住意識の刺激、住民のニーズに合わせた段階を重ねることで在来のイベントに参加していなかった人の参加の契機を作ることができ、住民同士の関係の創出や、その後の住民同士の自発的な活動につながっている。調査グループとの信頼関係、段階的な支援はコミュニティが発展していく基盤となることが確認できた。しかし、入居後1年経過していたこともあり、育っていたいくつかのコミュニティを融合させるまでには至らず、自立的なコミュニティ形成の基盤に留まった。コミュニティ支援におけるイベントは即時的かつ、即地即人的な住民のニーズを細やかに汲み取り、段階を見据え継続的に住民間の関係の創出に努めることが重要である。

図1 イベントによる仮設団地内のコミュニティの変容



★ 滞在中、イベントや談話室に初めて自発的に来た。

* 大阪市立大学大学院工学研究科 前期博士課程
 ** パナホーム株式会社
 *** 大阪市立大学大学院工学研究科 教授・博士(工学)
 **** 大阪市立大学大学院工学研究科 准教授・博士(工学)

Master Course, Graduate School of Engineering, Osaka City University
 PanaHome corporation
 Prof., Graduate School of Engineering, Osaka City University, Dr. Eng
 Assoc Prof., Graduate School of Engineering, Osaka City University